

# 教育目標

## (1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「いつもにこにこ元気な子」をスローガンに掲げて、次のようなめざすべき児童像をもって本校の教育目標とする。

- ・べんきょうがだいすきな子（確かな学力の育成）
- ・うんどうがだいすきな子（たくましい体力の育成）
- ・ちゅうぶがだいすきな子（心豊かな子の育成）

## (2) 経営方針

- ア 新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成のもと、「確かな学力」を身につけ「生きる力」をもった児童を育てる教育活動を展開する。
- イ ESDプロジェクトを推進し、教材、教科、人、地域との「つながり」や「かわり」を基に、未来に対して責任のある生き方ができる子を育成する。
- ウ 専門職としての自覚をもち、たゆまぬ研修と研究に努め、授業力・指導力の向上を図るとともに、知識・技能・教養を高める。
- エ 運動する機会や時間を確保するとともに、特色ある運動を取り入れながら、楽しみながら柔軟性を高め、体力の増進を図る。
- オ 日本の伝統文化や季節感を大事にし、本物に触れる、体験する活動を充実させ、郷土を愛する心を育てる。
- カ 保護者や地域の人々に愛され、信頼される学校、地域とともに歩む学校づくりを教職員一体となって取り組む。

## (3) 本年度の重点努力目標

- ア べんきょうがだいすきな子を育てる
  - ・ことばや漢字に親しみをもたせ、国語を中心とした基礎・基本の定着の徹底を図るとともに、すべての教科、領域、道徳の時間において言語活動を充実させ、思考・判断・表現力、コミュニケーション能力を育成する。
  - ・朝の読書や読み聞かせを継続し、学級文庫の充実を図るとともに、家庭とも連携して読書活動を推進し、心の醸成を図る。
  - ・授業での学習ルールを徹底させるとともに、家庭の協力を得ながら、宿題をきちんとする、学習用具を忘れないなど確かな学習習慣を身につけさせる。
- イ うんどうがだいすきな子を育てる
  - ・竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、楽しんで体力の向上が図られるようにする。
  - ・1年時から竹馬と一輪車に親しませ、卒業までには全員ができるようにする。
  - ・長い休憩時間を設定し、外遊びを促す。
- ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる
  - ・幼保小中の交流、地域の人々との交流、障がいのある人との交流など、さまざまな体験活動を通して、心豊かな子を育てる。特に、六ツ美中学校との兄弟学級の交流、校内での異年齢交流が継続的にできるようにする。
  - ・六ツ美中部の豊かな自然と伝統文化に触れさせ、体験させるとともに、地域の教材や人材の積極的な活用を図る。

## (4) 目指す教師像

教師としての「専門性」「人間性」「指導性」を自覚し、常に研鑽と修養に努め、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築くとともに、社会の変化に対応でき、保護者、地域から信頼される教師を目指す。